



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.13

地域連携病院⑨「鴨島病院」

今回は、リハビリ治療に力を入れている鴨島病院を紹介します。

■ リハビリを中心とした地域貢献

鴨島病院は、良質な看護と介護をベースに、看護と連携のとれたリハビリを強みとして地域医療に貢献しています。リハビリテーション部では、約100名のスタッフが交代で、年間約140件以上のリハビリに関する啓発活動を行っており、さらに徳島県東部を中心に活動している徳島県地域リハビリテーション地域支援センターの連携病院として、「阿波踊り体操」を考案するなど、地域に密着した医療にも取り組んでいます。この「阿波踊り体操」は、阿波踊りと健康体操を組み合わせたもので、「健康な体づくりのために楽しく続けられる運動を」との要望に応えるべく、独立行政法人国立病院機構徳島病院の総合リハビリテーションセンター長、高田信二郎先生との協働にて考案されました。その後、DVDが制作され、ケーブルテレビ放送や公共施設への無料配布、徳島大学開放実践センターでの、吉野川市まちづくり地域づくり応援事業の開設といった普及活動により、今では地元だけでなく県内外にまで愛好者が広がっています。また、看護とリハビリとソーシャルワーカーが協力し、亜急性期に対応していく組織体制

や人材育成にも力を入れています。

■ 一人ひとりの患者さんに質の高い医療の提供

鴨島病院では、「来院された患者さんは、最後までしっかりサポートしたい」というスタッフの意気込みから、医師、看護師、リハビリ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種が連携してカンファレンスを十分に行うことで、質の高いチーム医療を提供しています。急性期病院からリハビリが必要な患者さんを受け入れる後方支援病院としての役割を、しっかり果たしていきたいとのことです。また、紹介患者さんについては、紹介元の医療機関に対して経過報告を十分に行い、その方がどのような状態で退院するかを知ってもらうことを大切に、患者さん一人ひとりから信頼される病院を目指しています。土橋病院長は「高齢者医療の中心的な役割を果たしている病院であるが、リハビリについては若い人からお年寄りまで幅広く対応したい。病院の地域社会への貢献が問われる中、患者さんの権利を守り、地域の特色をふまえたリハビリを中心に地域貢献していきたい」と今後の目標を語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■説明は、
土橋 孝之
(つちはし たかゆき)
病院長

■問い合わせ
医療法人 徳寿会
鴨島病院
吉野川市鴨島町内原
432番地
Tel.0883-24-6565